

冷食タイムス



The Frozen Food Times

発行所 株式会社水産タイムズ社

編集発行人 大場 隆広

〒108-0014 東京都港区芝5-9-6

TEL03(3456)1411 FAX03(3456)1416

ホームページ <https://suisantimes.co.jp/>

e-mail reisyoku@suisantimes.co.jp

日刊（但し土・日曜・祝祭日休刊）

購読料 1カ月 5,280円（税別 4,800円）

6カ月 31,680円（税別28,800円）

2025年（令和7年）

5月30日（金）第9406号

凍菜協、ドローンの農薬散布が新たな課題

冷凍野菜の残留農薬違反は近年、減少傾向にあるが、近隣の畑でドローンを使った農薬散布による飛散が原因で基準値を超えるケースがあり、新たな課題になっている。冷凍野菜を扱うメーカー・商社で組織する



中井会長

輸入冷凍野菜品質安全協議会（凍菜協）が都内で28日開催した総会の場で、中井清典会長が対応の必要性を指摘した。

中井会長は自身が所属するニッスイが中国から輸入したスナップエンドウのモニタリング検査で、クロルピリホスが基準値を超えて検出されたと報告。「迷惑をおかけした」と陳謝した上で次のように説明した。

「基準値を超えた要因は隣接農地からのドリフト（飛散）。中国ではクロルピリホスを野菜に使用することが禁止されているが、果実や穀類は認められており、残留基準値も高い。昔のように手作業で農薬を散布していれば、

ある程度リスクは防げていたが、最近ではドローンによる散布が増え、今まで設定していた隔離帯では防げない。残留農薬が高濃度でも構わない作物と、禁止している野菜の畑が隣接していること自体がリスク要因になっている。中国の窓口である土畜商會に実態を伝え、中国側にも対策してもらうことが重要。こうした取り組みは1企業では難しいため、新たな課題として繰り返し訴えることが凍菜協の大事な役割ではないかと強く感じている」。

厚労省はニッスイが輸入した中国産スナップエンドウからクロルピリホスが0.03ppm検出されたと15日公表している。

総会では昨年度の事業報告と収支報告、今年度の事業計画・予算案、役員・委員会役員の選任の4議案をいずれも承認した。引き続き、一般消費者とのコミュニケーションに力を入れる方針。（一社）日本冷凍食品協会が実施する消費者団体との交流の場にも参加する考え。12月上旬には台湾高雄市で現地の冷凍野菜・果実生産者団体との懇談会を予定している。

大冷、えび事業は見直して安定調達へ……………	2
上島珈琲店、アサイーでFドリンク……………	2
吉野家、通販で「父の日限定セット」……………	2
スタイルブレッド、低糖質パンセット発売…	2
アグロL、米代替肉のレトルト食品発売………	3
ニッスイ、「海とさかな」に殿堂入り新設………	3
4月の凍菜輸入量は前年並み……………	4

あしからず

訪日外国人が日本の市販冷食に興味

…………… 3